

平成 5 年度
集団研修「専門看護」・「看護管理」コース
帰国研修員フォローアップ調査
調査報告書

平成 6 年 3 月

国際協力事業団
東京国際研修センター

ICA
119
929
TIH
BRARY

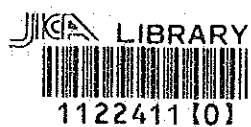
東国七

JR

94-003



平成5年度
集団研修「専門看護」・「看護管理」コース
帰国研修員フォローアップ調査
調査報告書



28394

平成6年3月

国際協力事業団
東京国際研修センター

国際協力事業団

28394

序文

この報告書は、国際協力事業団が厚生省及び財団法人国際看護交流協会の協力のもとに実施している、集団研修「専門看護」・「看護管理」コースに参加した帰国研修員に対するアフターケア事業の一環として、シンガポール及びスリ・ランカの2ヶ国を対象に派遣されたフォローアップ調査の結果をとりまとめたものである。

本報告書が、研修員受入事業の今後の改善向上に資すると共に、当該分野に於ける各国の実情・課題、帰国研修員の活動状況及び研修コースに対する要望について、関係各位の一層深いご理解の一助となれば幸いである。

なお、今回の調査業務に当り、多大のご支援とご協力を賜った外務省、厚生省、在外公館、JICA事務所その他関係各位に深い感謝の意を表する次第である。

平成6年3月

国際協力事業団
東京国際研修センター
所長 田口 定則

スリ・ランカ



保健婦人問題省での協議

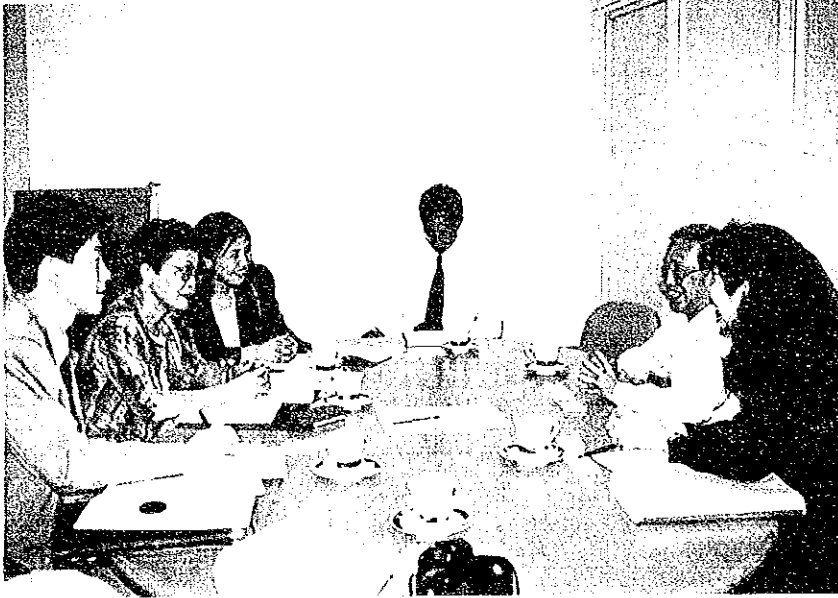


キャンディ総合病院



団長主催パーティ

シンガポール



大蔵省人事局担当者と協議



保健省担当者と協議



団長主催パーティ

目次

第1章	フォローアップチーム概要.....	1
1.	派遣目的.....	1
2.	団員構成.....	1
3.	派遣日程.....	2
4.	面会者名簿.....	3
5.	対象コース概要・受入実績.....	7
第2章	調査内容.....	12
1.	シンガポール.....	12
1)	シンガポールの看護事情.....	12
2)	研修の評価.....	13
2.	スリ・ランカ.....	17
1)	スリ・ランカの看護事情.....	17
2)	研修の評価.....	18
3.	本コースへの提言.....	23
1)	専門看護コース.....	23
2)	看護管理コース.....	24
3)	看護研修全体.....	25
4.	スリ・ジャヤワルダナプラ総合病院看護教育プロジェクト.....	26
1)	看護学校の現状.....	26
2)	保健婦人問題省とスリ・ジャヤワルダナプラ総合病院との関係.....	26
3)	所感.....	26
第3章	添付資料.....	27
1.	質問表.....	27
1)	シンガポール.....	27
A.	政府機関宛質問表.....	27
B.	研修員所属先病院宛質問表.....	29
2)	スリ・ランカ.....	31
A.	政府機関宛質問表.....	31
B.	研修員所属先病院宛質問表.....	33
3)	帰国研修員用質問表（両国共通）.....	35
2.	帰国研修員名簿.....	37
1)	シンガポール.....	37
2)	スリ・ランカ.....	38
3.	現地政府宛サマリーレポート.....	39
1)	シンガポール.....	39
2)	スリ・ランカ.....	45

第1章 フォローアップチーム概要

1. 派遣目的

専門看護研修コースと看護管理研修コースの帰国研修員、研修員の所属先病院、関係機関等への訪問、またそれに先だって送付した質問票を基に

- 1) 当該国の病院、看護、医療事情を幅広く把握
- 2) 帰国研修員が日本で得た技術、知識を自国でどのように活用しているかを把握
- 3) 当該国の看護分野における人的資源開発ニーズの把握

することによって当該研修コースの改善に資することを目的としている。

また、今回の派遣では、来年度医療協力部にて事前調査を予定しているスリ・ランカ看護教育プロジェクトの要請背景等の調査もその目的に含まれている。

2. 団員構成

- 1) 団 長：田村 やよひ 厚生省 健康政策局 看護課課長補佐
- 2) 技術指導：豊島 関子 国際看護交流協会 研修事業部部長
- 3) 業務調整：白井 健道 国際協力事業団 東京国際研修センター 研修第1課

3. 派遣日程

1) シンガポール

1月16日(日)	11:30	成田発
	17:45	シンガポール着
1月17日(月)	10:00	在シンガポール日本大使館表敬訪問
	11:00	大蔵省人事局表敬訪問
	14:00	保健省表敬訪問
	15:00	保健省にて帰国研修員との面談
1月18日(火)	9:30	School of Nursing訪問、見学
	11:00	シンガポール総合病院訪問、見学 帰国研修員との面談
	14:30	Tan Tock Seng病院訪問、見学 帰国研修員との面談
1月19日(水)	10:00	JICA事務所報告
	19:20	シンガポール発

2) スリ・ランカ

1月20日(木)	10:30	在スリ・ランカ日本大使館表敬訪問
	11:30	財政企画省外国援助局表敬訪問
	14:00	保健婦人問題省表敬訪問
1月21日(金)	9:00	コロンボ総合病院訪問、見学 帰国研修員との面談
	14:00	Bio-Medical Engineering Services訪問、見学
	15:00	School of Nursing, Colombo 訪問、見学 帰国研修員との面談
	17:00	細田深雪青年協力隊員(保健婦)との面談
1月22日(土)		団内打ち合せ
1月23日(日)		キャンディへ移動
1月24日(月)	9:00	キャンディ総合病院訪問、見学 帰国研修員との面談
	10:30	School of Nursing, Kandy 訪問、見学
	14:00	ペラデニア教育病院訪問、見学
1月25日(火)	9:00	再建復興社会福祉省訪問
	10:00	スリ・ジャヤ・ワルダナラ総合病院訪問、見学
	17:00	JICA事務所報告
1月26日(水)	11:00	コロンボ発
1月27日(木)	6:10	成田着

4. 面会者名簿

1) シンガポール

在シンガポール日本大使館

奥村 伸人 二等書記官

Ministry of Finance

Mr.Lee Kat Kan

Assistant Director, Training Public Service Division

Miss Ong Poh Chin

Personnel Executive, Training Public Service Division

Ministry of Health

Mrs.Tan Poh Choo

Chief Nursing Officer

Mdm.Lim Ee Lee

Director Nursing Education

School of Nursing

Miss Chia Su Lin

Higher Nursing Officer(Tutor)

Mdm.Ler Ai Choo

Nursing Officer

Singapore General Hospital

Ms.Ow Lieyen

Deputy Nurse Administrator

Ms.Lee Heng Lin

Senior Nursing Officer, Nursing

Tan Tock Seng Hospital

Ms.Kong Gek Inn

Nursing Administrator

Ms.Ng Pak Choo

Staff Nurse, Department of Rehabilitation Medicine

Alexandra Hospital

Ms.Tan Peck Kheng

Nursing Officer Orthopaedic and Surgical Department

IICAシンガポール事務所

岩田 東一所長

石原 伸一所員

播磨 俊一調整員

(注: 帰国研修員)

2) スリ・ランカ

在スリ・ランカ日本大使館

木野本 浩之 二等書記官

Ministry of Health & Women's Affairs

Dr. Joe Fernando

Secretary

Dr. George Fernando

Director General (Health Services)

Mrs. Suriyarachchi

Director (Nursing Medical Services)

Mrs. N.C. de Costa

Director (Nursing Education)

Dr. G.S. Sendnayake

Coordinating Medical Officer

Colombo General Hospital

Mrs. S.A.B. Senadheera

Chief Nursing Officer

Mrs. K.A.O.C.P. Wijenayake

Matron, Operating Theatre Sec.

Mrs. K.B.H. Balasuriya

Nursing Officer, Gr. II A C.C.U.

Ms. M.F.J.M. Kurera

Nursing Officer, Gr. II Medical Intensive Care Unit

Miss Chandra Withana

Nursing Officer, Special Grade Medical Section

Mrs. R.D.M.S. Weeratunga

Nursing Officer, Gr. II A S.I.C.U.

Ms. C.A. Jayasinghe

Nursing Officer, Gr. II A C.C.U.

Ms. K. Vithana

Nursing Officer, Special Grade Paying Sec.

S. Welivitiya

Nursing Sister, Intensive Care Unit, General

Hospital Karapitiya

Bio Medical Services

Mrs. S.I. Jayawardene

Director

松尾 剛 JICA 専門家 (医療機器保守管理)

School of Nursing, Colombo

Ms. S.K. Paranavitharana

Principal

Mrs. V.D. Lankalbilaka

Special Grade Nursing Officer

Ms. N.C. De Costa

DNE

Ms. B.D. Chandralatha

Nursing Tutor

Ms. N. Vanlangenberg

Nursing Tutor

Ms. D.N.S. Dissanayake

Special Grade Nursing Tutor

Ms. B.M.N.K. Balasuriyameniike

Nursing Tutor

Ms. K.A.P. Gumasingh

Nursing Tutor

Ms. D.P. Abujratue

Nursing Tutor

Kandy General Hospital

Dr.A.M.L.Beligaswatte	Director
Dr.N.S.Thalgahagode	Acting Deputy Director
Mrs.N.Majuwanagama	Matron
Mr.M.M.Seneviratne	Matron
Mrs.S.M.A.Siriwardhana	Sister in Charge.Pue Unit & Asst.Matron
Mrs.N.S.Widyapathige	Nursing Sister
Mrs.P.A.D.C. Panawalu	Nursing Officer,General Hospital Kurunegala
Miss T.E.M.H.Ekanayake	Nursing Sister

School of Nursing,Kandy

Mr.H.M.J.Herath	Principal
Ms.S.G.Samavanajuk	Senior Tutor
Ms.D.M.Abeykooor	Nursing Tutor
Ms.N.S.Widyapathige	Nursing Sister
Ms.K.W.Withanawasa	Nursing Officer
Ms.R.M.P.Batangalawat	Nursing Tutor
Ms.R.M.S.Adikaram	Nursing Tutor
Ms.K.M.Gurautue Memhe	Nursing Tutor
Ms.Memh Uclmila	Nursing Tutor
Ms.A.M.Y.M. Watagodakumbura	Nursing Officer Special Grade
Mrs.P.Sooriompois	Nursing Tutor(Special Grade)
Ms.A.M.S.Adikari	Nursing Tutor
Mrs.P.A.D.C.Panawala	Nursing Officer,General Hospital,Kurunegala
Miss H.M.W.Herath	Nursing Tutor
Mrs.D.L.L.Peiris	Nursing Tutor
Mrs.Vinectha Sumathipala	Nursing Tutor

Department of Social Services

Mr.N.W.E. Wijewantha	Director
----------------------	----------

細田 深雪青年海外協力隊員 (保健婦)

Peradeniya General Hospital

Dr.M.S.Uduwela	Acting Director
Ms.S.M.Kodngoda	Matron
Miss T.E.M.A.Ekanayake	Nursing Sister
Miss K.W.Withanawasam	Nursing Officer
Mrs.N.S.Widyapathige	Nursing Sister
Mr.C.Pasqual	Administrative Officer

Sri Jayawardenepura General Hospital

Dr.Nalin Rodrigo	Chairman
Dr.S.M.Gunasekera	Director
Mr.L.U.C.Kumarage	Deputy Director
Mrs.H.A.S.Sericheder	Matron
Mrs.B.S.Abajwardem	Tutor Sister
Mrs.M.W.Ranawais	Tutor Sister
Mrs.S.Sawarawickrawa	Tutor Sister
Miss G.R.M.Jayalath	Staff Nurse
Mrs.A.J.Savithanthinge	Nursing Officer
Ms.T.R.C.Masakorela	Nursing Officer
Mrs.B.A.D.S.Puslpalatha	Nursing Officer

JICAスリ・ランカ事務所

中村 欣功所長
鈴木 晃次長
河崎 充良所員

(注:  帰国研修員)

5. 対象コース概要・受入実績

コース概要

専門看護コース：東南アジア看護研修がASEAN諸国の看護婦を対象としているので当コースはそれ以外の国を割当国とし、中堅看護婦に対し専門看護（クリティカル・ケア）の知識と技術を講義と実務研修によって習得することを目的としている。

看護管理コース：東南アジア看護研修又は専門看護研修の修了者で、帰国後の活動の中で日本の看護管理について更に深く研修したいとの希望を受け、上記両コース修了者を対象とし、看護管理の理論と実際を学ぶことを目的としている。

今回のフォローアップの対象コースとなったのは、上記2コースであり、両コースがスタートして各々13年、7年後の調査団派遣であった。派遣国は急速な発展を遂げ、医療サービス機関のリストラクチャーを進めているシンガポールと、日本の医療・看護プロジェクトが、実施或は進展しつつあるスリ・ランカであった。

またこの他にJICA、国際看護交流協会（INFJ）の実施している看護分野の研修としては下記のものがある。（下表参照）

- ・臨床看護実務（JICA沖縄センター所管）
- ・労災医療（JICA八王子センター所管）
- ・東南アジア看護婦研修（厚生省からの委託事業としてINFJが実施）
- ・個別カウンターパート研修

幸い、今回訪問した両国では上記コースの終了者にも面会することができた。

日本における看護分野の技術研修の概要と受入実績については以下の図表を参照

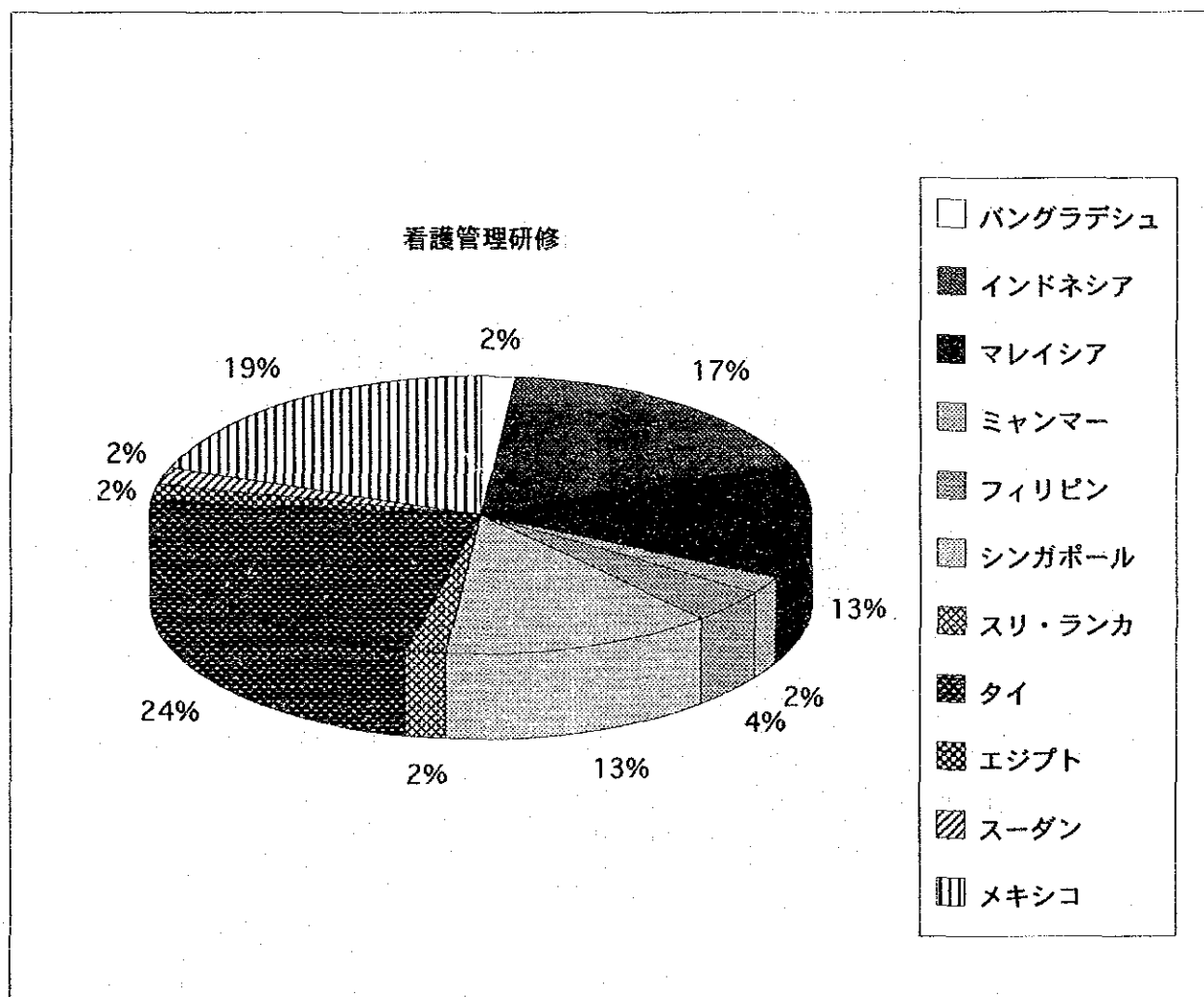
1) 各コースの概要

コース名・期間	監督官庁	実施機関	研修委託先
専門看護研修 (9ヶ月)	厚生省	JICA、TIC	INFJ 各研修病院
看護管理研修 (5ヶ月)	厚生省	JICA、TIC	INFJ 各研修病院
臨床看護実務研修 (6ヶ月)	---	JICA、OIC	沖縄県立中部病院
東南アジア看護研修 (12ヶ月)	厚生省	INFJ	各研修実施病院

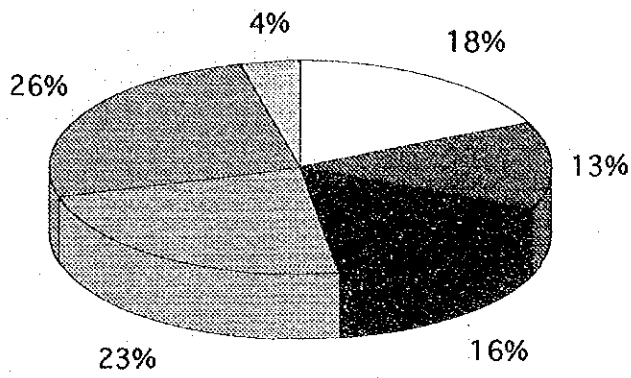
2) 海外看護研修生受入実績表

コース名、国名	73~79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	合計
東南アジア看護婦研修															
インドネシア	12	2	2	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	57
マレーシア	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	42
フィリピン	12	2	2	3	3	3	4	3	3	3	3	3	3	4	51
シンガポール	26	4	4	4	4	4	3	4	4	4	3	3	3	2	72
タイ	28	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	80
ブルネイ	0								2	2	2	2	2	2	12
小計	80	14	14	16	17	17	18	18	20	20	20	20	20	20	314
専門看護研修															
カンボディア												1			1
バングラデシュ								1	1	1	1	1	1	1	7
ビルマ								1	1						2
ネパール								1							1
スリ・ランカ								1	1	1	1		1	1	6
パキスタン									1	1			1		3
エジプト									1	1	1	1			4
ケニア								1	1	1	1	1	1	1	7
ナイジェリア								1		1	1	1	1	1	6
セイシェル									1		1	1	1		4
スーダン										1	1	1	1		4
コロンビア												1		1	2
ボリヴィア								1							1
パラグアイ								1	1						2
ジャマイカ										1	1				2
小計								8	8	8	8	8	7	5	52
臨床看護実務研修															
ミャンマー								1	1						2
インドネシア							1					1			2
マレーシア						1	1	1				1			4
フィリピン						2	1			1	1	1	1		7
シンガポール						2									2
タイ						2	1					1	1		5
スリ・ランカ							1		1	2	1		1		6
パキスタン								1	1	1			1		4
パラオ								1							1
スーダン														1	1
ガーナ								1							1
ザンビア								1							1
セイシェル														1	1
イラク									1						1
エジプト									1						1
ネパール											1			1	2
セント・ルシア														1	1
ドミニカ共和国														1	1
コロンビア											1				1
パラグアイ											1	1		1	3
小計						7	5	6	5	4	5	5	4	6	47

看護管理研修	73~79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	合計
Bangladesh												1			1
Indonesia		2		2		2				1		1		1	9
Malaysia						1		1		2		2		1	7
Myanmar						1									1
Philippines		1												1	2
Singapore		3		1		1				1				1	7
Sri Lanka												1			1
Thailand		2		3		2		2		1		2			12
Egypt						1									1
Sudan														1	1
Mexico		2		1		2		3		2					10
小計		10		7		10		6		7		6		5	52

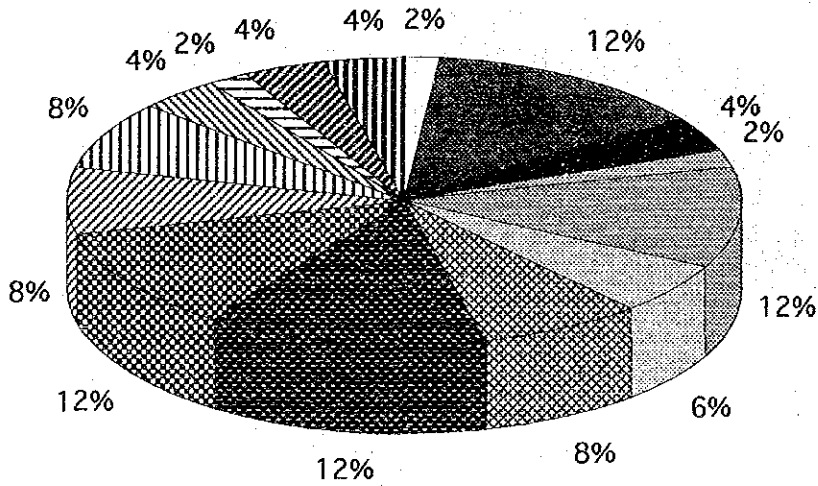


東南アジア看護婦研修



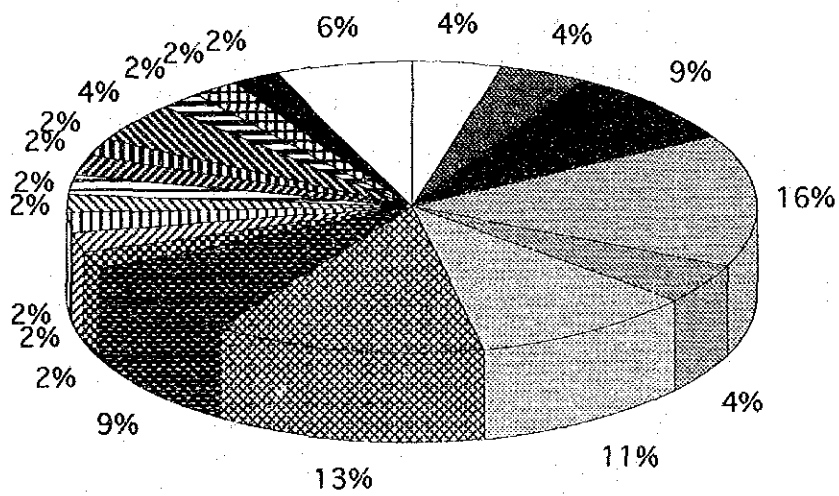
- インドネシア
- マレーシア
- フィリピン
- シンガポール
- タイ
- ブルネイ

専門看護研修



- カンボディア
- バングラデシュ
- ビルマ
- ネパール
- スリ・ランカ
- パキスタン
- エジプト
- ケニア
- ナイジェリア
- セイシェル
- スーダン
- コロンビア
- ポリヴィア
- パラグアイ
- ジャマイカ

臨床看護実務研修



- ミャンマー
- インドネシア
- マレーシア
- フィリピン
- シンガポール
- タイ
- スリ・ランカ
- パキスタン
- パラオ
- スーダン
- ガーナ
- ザンビア
- セイシェル
- イラク
- エジプト
- ネパール
- セント・ルシア
- ドミニカ共和国
- コロンビア
- パラグアイ

第2章 調査内容

1. シンガポール

1) シンガポールの看護事情

(1) 社会的背景

シンガポールは、人口300万人の美しい都市国家であり、中国系を主とする多民族国家である。1991年の統計では、GNPは13,720 USドル、国民一人当たりの医療費は480 USドルと他の開発途上国に比べてかなり高い。このような状況から、シンガポールは1996年から、OECDのDAC（開発援助委員会）の被援助国リストからはずれ、援助を実施する側に移行することになっている。このため1994年1月、日本とシンガポールによる第3国への技術支援などを謳った「日本・シンガポール パートナシップ プログラム」が締結されたところであり、今後は東南アジアの医療センターへと脱皮していくことが期待されている。

(2) 国民の健康・医療の状態（1991年）

国民の平均寿命は男性が74歳、女性は78歳である。主要死因は1位から順に、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患、肺炎、事故・中毒・暴力となっている。乳児死亡率も人口千対5.5と低い。

病院数は22、ベッド数は9,801である。国立病院、私立病院があり、医師数3,779人、一人当たりの人口は371人である。看護婦数は10,762人、一人当たりの人口は257人である。対人口比での医師、看護婦数はわが国よりも低い。

現在、国立病院の活性化のために再編成が進行しており、調査団が訪問したタン・トク・セン病院も国立から民間へ移管された病院であった。

(3) 看護職の養成と確保

看護婦の基礎教育は現在、2校で行われている。1校は1956年開設の保健省立の看護学校であり、他の1校は1992年7月に開校した文部省系のナンヤン・ポリテクニクの看護学校である。いずれもディプロマ・コースで、大学の課程はない。入学資格は高校卒業である。

保健省の看護学校では、基礎看護教育（看護学生プログラム三年と補助看護婦生徒プログラム二年を含む）、卒後教育一年のコースがある。

卒後教育プログラムはかなり充実している。8カ月の老人看護、腎不全看護、1年間のがん看護、クリティカルケア、手術室看護、小児・新生児看護、精神科看護のコースがある。修了生は専門家として当該分野で働き、婦長になるとときにはこの研修を受講していることが要件となっている。また給与の面でも一段階以上アップするという特典がある。基

基礎教育の学生ともども優秀な学生には、卒業式に保健大臣から金メダルと銀メダル、および書籍の賞が贈られる。

シンガポールも700～800人の看護婦不足の状態にある。そのため、約300人の外国人看護婦をフィリピンや中国から雇用している。そのうち約8割がフィリピン人看護婦である。中国人看護婦は2年契約で受け入れている。1993年は、全国で120人を雇用したという。1年目は再訓練、2年目は専門を学べる方向で受け入れている。またマレーシアの看護学生を定員の2割受け入れており、5年間の就業を義務づけている。しかし、このような看護婦不足も養成力が強化されているために、長期間続くとは考えていない。

2) 研修の評価

(1) 調査の対象

- ① 看護管理コースに参加した帰国研修員7名
- ② 帰国研修員が所属する2施設の責任者
- ③ 技術協力窓口機関である大蔵省、および保健省の関係者

(2) 調査方法

- ① アンケート調査
- ② 関係者との面談による調査

(3) 帰国研修員に対する調査から

今回調査に応じた帰国研修員は、対等となった7名のうち休暇中の2名を除く5名が質問紙への回答を寄せ、またその中の3名(名簿別添)と面談できた。なお、3名のうち2名は看護管理研修の第1期生(1980年実施)であり、残る1名は第7期生(1992年実施)で、面談によるフィードバックは本コースの最初と最終の参加者からのものとなった。

① 研修の効用及び応用について

()内は、(東南アジア看護研修/看護管理研修参加年度/現職)の順

- a. 管理の原理、基本的な考え方の理解が深まり、理論の日常業務への応用が容易になった。例えば意思決定や問題解決、また他部門との調整などへの応用。

(1973/1980/幹部婦長)

- b. 患者を中心に据えた看護管理や人材管理についての認識を深めた。スタッフの管理への参加(役割分担など)を強調するようになった(同上)。

- c. 病棟管理をする上での自信に繋がりと可能にした。(1974/198

0/婦長)

- d. 再研修であることから専門分野の積み上げもでき、熱傷ユニットの管理がより効果的にできるようになった(1976/1984/婦長)
- e. 患者や家族のニーズを一層配慮した管理をするようになった。(同上)
- f. 看護過程についての理解を深めたので、病院規模での導入時(1986-)ユニット内で即、効果的に推進できた。(同上)
- g. 病棟管理をする上で非常に役立っている。(1975/1988/婦長)
- h. より充実した院内教育プログラムを推進できるようになった。(1982/1992/スタッフ)
- i. 職場の人間関係を調整できるようになった。(同上)
- j. 帰国後リハビリテーション・ユニット内に看護教育委員会を発足、人間関係の改善や看護の質向上を図っている。(同上)
- k. 入院時のオリエンテーション・プログラムを作ったが、患者のリハビリを進めていくうえで効果をみている。(同上)
- l. 勤務時間帯の変更を試みたがユニット内で支持され定着した。(同上)

② 日本語の研修について(必要性)

- a. 日本語を話せたので日本人との交流が出来、文化の理解ができたと思う。自分の考え方や感情が伝えられたことは有益。
- c. 研修病院で医療関係者や患者と対話をする上で不可欠である。また、日本で生活する上で絶対に必要。
- d. 特に、実務研修の目標を達成する上で必要。
- e. 研修員のためのコーディネーターがいるので、日本語は個人的な利益ともとれる。

③ 日本での生活体験の意義

- a. アセアン諸国の同僚との分ち合いは、地域内の看護の展望を知る上で有益。
- b. 日本の文化や人々の生活様式、国民性を知る上で有意義。また、日本人の友人も多く出来たが、自国と日本の相互関係に何らかの形で役立つものと思う。
- c. 異なった文化への適応法を身に付けるなど視野を広げた。

④ 問題点、要望

- a. 看護管理の意味合いを自国では病院看護管理と捉え幹部看護婦を対象とする。従って、当該研修が必ずしも独立したコースとして上司などに認識されておらず専門分野の再研修的位置づけが強い。従って(1)プログラムに病院管理の内容をもっと加える、あるいは(2)現時点で即必要な病棟管理に焦点を絞るコース設定の検討をして欲しい。
- b. 研修期間が6か月から5か月に短縮された。これ以上の短縮ではコースと

して十分に学ぶべき内容を学ばず中途半端なもので終わってしまう。現状維持を希望。

- c. 施設内研修での指導法に、日常の管理上の問題をケース・スタディの形で研修員に課してもらい、解決のプロセスについて指導を受ける方法を導入して欲しい。

(4) 所属施設の責任者による評価から

① 知識や技術について

- a. 看護管理についての知識が向上し、様々な管理上の問題に対応できるようになった。
- b. 病棟管理だけでなく広い視点で管理を捉えられるようになった。
- c. 部下の成長を阻む問題点やニーズを見極められるようになった。

② 専門職としての意識や態度について

- a. 専門職としてもっと向上すべきとの認識を高めた。
- b. 患者管理面では、医療チームの中の看護専門職として本来の役割を果たすべきだとの気づきがあった。
- c. 様々な看護委員会に積極的に参加するようになった。

③ リーダーシップについて

それぞれの担当ユニットの管理を的確に行っており、部下の指導も適切である。

④ 昇格について（2施設の回答に含まれる4名について）

- 2名は幹部管理者に、1名は病棟婦長に昇格
- 1名は近い将来婦長に昇格予定

⑤ 研修成果の活用について

- a. 新しく得た知識を担当ユニットで応用できるように配慮している。
- b. 院内教育での講師になってもらっている。
- c. 看護の質向上に向けた活動に参画してもらっている。

(5) 大蔵省および保健省による評価から

大蔵省人事局

- ・ 技術協力受入窓口としては基本的に研修の有効性や研修員の質を派遣の一つのポイントにしている。看護分野の研修は非常に効果の上がっているコースの一つと評価している。
- ・ 研修終了後レポートを提出させるが、他の国での研修からは得られないものを修得してくる。それは、専門職としての責任感の強化や看護への姿勢、人々との関わりかたなどが望ましい方向に変化しているということである。
- ・ 帰国研修員に期待することは研修成果を日常業務に最大限に活かし、かつ同僚

や部下とシェアして欲しいということである。

- ・ 日本以外の国での研修のメリットは言語の障害がないことがある。従って当該コースに望むことは講義をできるだけ英語でして欲しいということである。

保健省看護課

帰国研修員が修得した知識を積極的に導入、実践していること、特に部下の指導や患者教育面での仕事ぶりに満足している。

日本での研修は様々な国の看護職と共に学べる環境にあることが大きなメリットと認識している。オーストラリアや英国への留学では得られない貴重な体験だ。

(6) まとめ

1) 研修の有効性

帰国研修員、所属施設および政府機関の関係者から得た管理コースへのフィードバックは総じて肯定的であり、次の点などからその有効性は高く評価されたといえよう。

- ・ 帰国研修員 7名の内6名は元の職場で、あるいは新しいユニット開設などのため移動した職場で定着し、幹部婦長あるいは婦長、シニア・スタッフとして働いている。
- ・ 研修で修得した知識や技術は前記①(3)のとおり日常管理業務のなかで十分活かされ、また、部下や同僚への技術移転も積極的に行われている。
- ・ 文化の異なる日本での研修が看護観や行動の変容につながるなど、波及効果をもたらしている。
- ・ 所属施設および政府機関の関係者からの評価は前記(4)、(5)のとおりであり、帰国研修員からの評価を裏づけるものであること。

2) 日本語研修の必要性

1名を除いて全員が、日本での研修に不可欠としている。本研修が再研修として開始した背景には、日本語でのコミュニケーションがある程度期待できることや、日本の医療・看護の現場を初回専門研修で体験していることから、管理研修としての積み上げが出来るということがあった。

本研修への参加が13年後という帰国研修員がいる事実などから、日本語のリフレッシュ期間を適当に確保することは、現場でのコミュニケーションを保ち、研修の効果を上げるうえで必要であり、従来通り継続することが望ましい。

2. スリ・ランカ

1) スリ・ランカの看護事情

(1) 社会的背景

1991年のスリ・ランカの人口は1,750万人、主要な民族はシンハリ人である。一人当たりGNPは500USドルと高いものではないが、国は社会主義的な政策をとっており、国民は医療を無料で受けられる仕組みになっている。義務教育は5歳から10年間であり、国民の識字率は約90パーセントと高い。

保健医療分野での日本からの援助は、国立医学研究所、ペラデニア教育病院、スリジャヤワルダナプラ総合病院のプロジェクト等が実施され、医療機材の供与、技術協力が行われている。また、看護職のカウンターパート数名が、日本での研修を受けている。

(2) 国民の健康・医療の状態

1991年の平均寿命は男性が71歳、女性が75歳である。乳児死亡率は千対17.5であり、他の発展途上国に比べると低い。主要死因は1位から順に、虚血性心疾患、脳血管疾患、悪性腫瘍、肺循環疾患、消化器疾患となっている。虚血性心疾患が多いのは、自然の恵みであるココナツから採れるオイルをカレーなどにふんだんに使っているからではないかと考えられており、現在研究中とのことである。

1990年のデータによれば、病院数は365、ベッド数は41,782となっている。医師数は2,440人、看護婦数は12,418人であり、一人当たりの人口数は医師が7,488人、看護婦は1,957人と多く、医療従事者が不足している。特に看護職は、保健婦人問題省によれば、約3,000人の不足状態であると考えられている。

(3) 看護職の養成と確保

スリ・ランカにおける基礎看護教育機関は12校である。すべて病院付属のディプロマ・コースであり、教育課程は3年間である。1学年の総定員数は約1,000人である。入学資格は、18歳以上30歳以下で、高校を卒業していることとなっている。スリ・ランカの失業率が14パーセントと高いことや、女性が働く職場が多くないこともあり、看護職への希望者は非常に多く、受験倍率は80倍ほどである。この難関を乗り越えて、学校に入学し、所定の教育課程を終えて、看護婦国家試験に合格するものは入学者の約8割である。

3年間の教育は、国で定めた標準のカリキュラムによって運用されている。標準のカリキュラムとスリジャヤワルダナプラ看護学校のカリキュラムとは若干の違いがあるところから、学校によって科目を追加して教育することは許されているようである。保健婦人問題省としては、すべての学校が同じレベルでカリキュラムを運用できるようにしたいと考

えているが、教員の能力により教育の質が異なってくるため、教育者の訓練が必要と考えている。そのための8ヵ月の教員の教育コースを設けている。

看護教育機関は全般に施設設備ともに貧弱である。調査団が訪問したコロombo看護学校、キャンデイ看護学校は両校とも歴史のある学校であるが、教室が狭く、図書も英文のものがわずかにあるだけで、シンハリ語のテキストはない。特にコロombo看護学校では、OHPやスライドプロジェクターが一台もなく、教材に不足している状態である。

3,000人に上る看護婦不足に対する今後の確保対策として、保健婦人問題省は学校の設置と教員の強化によって対処しようとしている。特に、スリジャヤワルダナプラ看護学校の養成力に期待し、卒業生は全国に配置したいと考えている。しかし、スリジャヤワルダナプラ病院の側では、卒業生を当該病院の看護要員として期待しているという食い違いが生じている。

卒後研修については、先に述べた教員の研修だけでなく、助産を含む臨床看護と看護管理を強化するため、コースが設けられている。日本での研修に対しても、これらの領域の研修にこれまで以上に看護婦が参加できるよう希望している。

2) 研修の評価

(1) 調査の対象

- ① 専門看護コースを終了した帰国研修員6名および看護管理コースを終了した(1)の中の1名
- ② 帰国研修員が所属する2施設の責任者
- ③ 技術協力窓口機関である大蔵省対外資源局および保健婦人問題省の関係者

(2) 調査の方法

- ① アンケート調査
- ② 関係者との面談による調査

(3) 帰国研修員に対する調査から

帰国研修員6名の中の1名は出産のためアンケートのみ。他の5名は所属施設で幹部看護婦と共に面談することができた。

- ① 研修の効用及び応用について
()内は回答者の参加年度
 - a. 専門的知識が豊かになった。(全員)
 - b. 医療機器の操作など技術面の修得ができた。(全員)
 - c. 自信を持って後輩や学生の指導ができるようになった。(1991)
 - d. 患者看護について、新しい看護観が確立された。(同上)

- e. 仕事に対する姿勢が変わった。責任を一層自覚し、毎日の業務を遂行するようになった。(1989)
- f. 医師・看護婦・患者／家族などのチームワークの重要性を認識し、改善への意欲が高まった。(同上)
- g. 忍耐力を養ったことが職場でのコミュニケーションを健全に保つ上で役立っている。(1988)
- h. ICUの看護システムを見直し、改善した。(1987)
- i. ICU患者の心理的サポートのため家族の面会ができるよう提言、実現した。(1991)
- j. MICU、救急ユニットの看護職を対象とした教育プログラムを帰国3年後に企画、医師や上司の協力で5日間実施した。(1989)
- k. CCU看護のワークショップを企画、婦長との話し合いを持った。(1993)
- l. 医療機械や機材についての検討および評価会に参画するようになった。(1991)

② 日本語の研修について (必要性)

- a. 研修内容を理解する上で不可欠
- b. 医師や看護婦、患者とのコミュニケーションを保つ上で必要
- c. 日本人や日本人の生活を知る上で必要

③ 日本での生活体験の意義

- a. 日本人の家庭にホームステイができたことは、日本人理解につながった。
- b. 文化の異なる人々との関わりは様々な気付きや行動の変化をもたらした。

④ 要望

- a. 5年から10年後に専門分野の再研修を希望
- b. 6年間でたった6人と参加者が少ない。もっと多くの看護職が参加できるようにしてほしい。
- c. 一度に少なくとも2人を受け入れてほしい。(特に管理コースに)
- d. 毎年あるいは2年に一度自国で帰国研修員のためワークショップを開いてほしい。
- e. 事前のJICA現地事務所によるオリエンテーションに視聴覚機材を使っ
てのプログラムも導入すれば日本理解がしやすくなると思う。

(4) 所属施設の責任者による評価から

① 研修の効用

- a. 日本での研修は海外に出る機会が非常に少ないスリ・ランカの看護職にとって大きなインパクトとなっている。

- b. 日本での研修は実践も含むので技術的な修得があり有効。
- c. 現存の機材を有効に活用しながら同僚や部下に技術の移転をしている。
- d. 院内教育プログラムに貢献している。
国内の看護職対象としたICUコースで講義をしている。
- e. 帰国後の提言の幾つかは導入され、院内カンファレンスでも評価されている。
- f. 管理研修の効用としてはリーダーシップが増したことが挙げられる。しかし、階級制が邪魔をしている面もあるので専門研修が有益であり、「病棟管理」がより实际的である。

② 優先度の高い研修希望分野

心臓外科看護、脳神経外科看護、手術室看護、救命救急看護の順

③ 要望

- a. 2年に1度位の割合で日本のエキスパートによるフォローアップ・ワークショップの開催を検討して欲しい。
- b. 帰国研修員が伝達報告に使える機材が殆どないのが問題。支援を希望する。

(5) 大蔵省および保健婦人問題省による評価から

大蔵省対外資源局

日本での研修はスリ・ランカの医療の発展にとって大切なコースである。自分自身日本で短期研修に参加してみて、日本人の仕事に対する姿勢や献身、責任感の強さに大きな関心を持った。もっと多くの看護職を受け入れてほしい。また国別の集団コース(看護分野)を望みたい。

保健婦人問題省

・ 研修の効用

- a. 帰国後レポートを提出してもらっているが、研修は参加者に大きなインパクトになっている。また、同僚や後輩への波及効果も大きい。
- b. 日本から持ち帰った専門知識や技術は非常に貴重で大変役立っている。
- c. 日本で学んだ次の点を高く評価している；
 - － 現存の限られた物的資源を最大限活かそうとする姿勢
 - － ECGの解読や救急蘇生などについての理論と実際の習得
 - － 患者や家族への心理的サポートの重要性についての気付き
 - － 医療機器の使用法、管理についての知識技術の向上

・ 帰国研修員に期待すること

- － 他の看護スタッフの訓練に当たり、看護のレベルアップを図って欲しい。スリ・ランカでは専門分野の教育訓練が非常に不足している。

要望

- a. 研修員の受入れ数を増やして欲しい
- b. 年齢制限を40才にして欲しい。(看護学校入学資格が18才から30才であるため)

(6) まとめ

スリ・ランカにおける専門看護コースの評価は、前記のとおり帰国研修員、所属施設および政府機関のいずれからも、看護の専門性や職業観の確立に有効であり、国の医療の発展に貢献しているなど高いものであった。

日本で学んだことを研修員が個人だけの所有にする(伝達がない)といった傾向はよく聞くことである。しかし、それは当該研修員には全く当てはまらない。帰国研修員は専門とする分野に所属しながら、前述のように、ワークショップの実施や日常業務の中で、家族にも目を向けた看護の実践、同僚、学生の指導に当たっている。研修に参加できた者の責務を果たすといった認識も強い。

研修終了後の評価会で研修の効果として、あるいは計画としてそれぞれから出された点は3.1)の研修の効用の内容にはほぼ合致する。従って、帰国後それらの点は具体的に実践に移され、効果を挙げているといえる。

一方で、保健婦人問題省や所属施設が帰国研修員のレポート内容や提言を受け止め、職場での具体的な研修成果の応用を期待を込めて見守り、支援している状況がある。このことは、研修の波及効果を高める上で大きな要因になっている。また、反面進む医療の専門分化に看護人材の育成が大きく立ち遅れたスリ・ランカの実情が反映されているといえる。参加者の数を1人から複数にして欲しいとの要望については検討が必要と思われる。

日本語の研修について帰国研修員は全員その必要性、重要性を強調している。従って、今後の研修時間数については、日本語講師との検討で妥当な線を維持していくべきであろう。

異なった文化での生活や人々との関わりは、職業人としての成長に繋がる様々な気付きをもたらしている。ホームステイは日本を知る有効な手立てとなっているようであり、継続することが望ましい。

看護管理研修の評価については、現存する階級制度や幹部の看護職さえ国外に出る機会が殆どない国の事情などもあり、「病棟管理」が「看護管理」より有効、との意見が施設責任者より出されるなど、スリ・ランカではその効用が十分評価されるどころまでいっていない。シンガポール同様「病棟管理」がより妥当という意見は見逃せない。

1990年に看護管理コースに参加した1名は、帰国後救急サービスICUの新設準備に加わっているが、同様の理由で6か月後コロomboで看護管理の卒後教育を受けており、施設側の「看護管理」に対する期待の大きさを裏づけているともいえる。当該研修員は本年1月カンディ総合病院に婦長として赴任したが、病院長、総婦長が寄せる期待は大きな

ものがあつた。従来の病院管理を刷新し、斬新的な試みをしているこの新しい職場環境で、帰国研修員が納得のゆく仕事をしていくことが期待される。

3. 本コースへの提言

1) 専門看護コース

本コースは平成5年度の各省会議にて、研修期間の短縮、日本語学習期間の短縮等について検討されたが、その際フォローアップ調査団の報告を待ってから検討するという事になった。その点については、今回の現地調査により相手国政府、病院、研修員のこの研修コースに対する高い評価、期待を考えた際、また当コースのような実習中心のコース運営を考えた場合には、技術紹介型、セミナー型のコース等に比べて、研修期間の設定は現行の9ヶ月程度の長さにならざるを得ないだろうとの結論に達した。

従って、ここでは研修期間についてよりも研修の効果的・効率的な運営方法について言及してみたいと思う。

今回、シンガポール、スリ・ランカを訪問したが、国による医療・病院事情の違いはもちろん、同じ国であっても本人が所属している病院によって、また研修員個人によっても状況は千差万別であるという認識をあらたにした。従って実務研修の実施に当たっては特に受入側の病院、科と研修員との間に生じがちなギャップを如何に埋めるかと言うことが重要だという事を痛感した。

具体的な方策としては、現在行っている研修員へのインタビューをよりきめ細かくすることが考えられる。現行では研修員が研修コースへの参加要請書を提出する際に Questionnaire (研修員が自国で行っている実務や希望研修分野のかかれた質問表)も同時に提出することを義務づけており、それを基に研修第一日目に研修員個人に対しインタビューを実施し、約2ヶ月間の日本語研修期間中にそれぞれの研修員に対し研修実施病院を決定し、実習開始前日に病院を訪問し翌日より実習に入ることとしている。

今後は実習開始後2週間位までの間に研修員、実習病院、INFJ、JICA出席のもと相互理解を深める場を持つことを提案したい。

その他、研修を実施するに当たって以下の点を考慮に入れてプログラムを策定する必要があると感じた。

- ・当該コースの参加国においては看護の専門分化は始まったばかりであると言えよう。また、看護教育が臨床に重点を置いた内容であることから、基礎的な病体生理や検査、治療の理論的学習の強化を図り、それに基づいた看護の知識や技術の習得を強化する。
- ・ICU/CCUでの医療機器の操作や管理に看護職が大きく関わっている実態から、少なくとも自国で使用している機材のメカニズムや操作方法の理解を深める。また、使用後の後始末や管理の徹底が図られる様方向付けをする。
- ・帰国後の看護スタッフ教育のため、各々の教育内容の明確化や有効な伝達技法についての研修も強化する。

- ・疾病が国の文化や人々の生活習慣にも深く関わることから、専門看護を病院内に限定せず地域で生活する人々の視点（予防からリハビリテーション迄を視野に入れるという意味）から認識できるようなプログラムの設定を更に進める。

2) 看護管理コース

本コースは隔年実施であるが、平成4年度のコース終了時の研修員を交えた評価会において出ていた、「看護管理というよりは病棟管理が主だった。」という意見が今回面談したシンガポールの研修員からも聞かれた。具体的には、「研修員を送り出す国、病院は私達に高いレベルの看護管理の習得を期待しているが、実際に学んで帰るものが病棟管理という事になると上の期待に応えることが出来ない」というものである。つまり本コースの名称についての認識のずれが今回の調査で明らかになった。英文名はNURSING ADMINISTRATIONとあるが次回実施の平成8年度からはNURSING MANAGEMENTと改称し内容についても看護管理と病棟管理の概念を整理し病棟管理をメインとし看護管理をサブとした内容であることをGI (GENERAL INFORMATION) 等で明確にする必要があるであろう。

その他帰国研修員より聞かれた要望として下記のようなものがあつた。

- ・国公立系、私立系と設置の異なった施設での研修希望

対応：（平成6年度実施コースにて実行予定）

- ・日常の管理上の問題をケーススタディとして取り上げ、研修員と病棟管理者との間で検討する。

対応：現行でも一部実施されているが、日本の看護管理を深く学ぶ上で有効と考えられるので更に進めて行くべきであろう。但し、そのためには指導者と研修員との議論に相当時間数必要となるであろう。

また、今回のスリ・ランカ訪問では沖縄センター所管の臨床看護実務コースの修了者とも面会することができ、皆各々の職場で活躍をしていた。日本での研修も6ヶ月あり、日本の事情もよく把握しており、日本での再度の研修も希望する声が多いことから、臨床看護実務の修了者についても看護管理コース参加の資格を与えることを検討してもよいと思われる。

上記改善内容については、平成6年度の研修実施状況を見た上で、平成7年度の各省委議までに関係機関の合意を得、平成8年度から実行に移したい。

3) 看護研修全体

第1章の図表を見て判るようにJICAが実施している専門看護コース・臨床看護実務コースの割当国は、アセアン諸国に限った東南アジア看護婦研修コースと比べるとあまりにも多岐にわたっている。研修事業における技術移転の特徴として、今回訪問したシンガポール、スリ・ランカがそうであったように一つの組織、或は国に日本での研修修了者がある程度の数に達した場合に研修効果の飛躍的な伸びが期待できるというものがある。特に現場重視の看護分野であればなおのことであろう。従って上記2コースについては割当国決定時に相互の調整が必要であろう。或は割当国の根本的見直し（地域特設化）も必要かと思われる。また、受入人数についても1ヶ国2名の受入という要望もでており、研修の効果考えた際にも有効であると思われるので併せて検討されるべきものと思われる。そうすることでJICAの目指している国別人材育成計画に有効に資することの出来る研修となるであろう。

4. スリ・ジャヤワルダナプラ総合病院看護教育プロジェクト要請背景

1) 看護学校の現状

今回の調査ではコロンボ総合病院とキャンディ総合病院及びスリ・ジャヤワルダナプラ総合病院の看護学校を見学したが、各看護学校とも建物があるだけで教育用機材が皆無といっても過言ではないような状況であった。そのような状況にあるためにスリ・ランカ政府、保健婦人問題省の看護教育プロジェクトへの期待は非常に大きなものがあった。また、スリ・ランカでは看護学校への応募数が1,000人の枠に対して80,000人に登るといふ事であり、優れた看護学校の建設に対する需要は高いものと思われる。

2) 保健婦人問題省とスリ・ジャヤワルダナプラ総合病院との関係

現在、スリ・ランカでは保健婦人問題省が保健医療行政を監督・監理している。以前は保健省と婦人問題教育病院省に分かれていて、スリ・ジャヤワルダナプラ総合病院は婦人問題教育病院省の管轄にあった。その影響か他の総合病院に比べて保健婦人問題省からある程度の独立性を保っている。そのため看護教育プロジェクトについての理解に若干の違いがあるようである。(下表参照)

	保健婦人問題省	スリ・ジャヤワルダナプラ総合病院
卒業後の進路	他の看護学校と同様各地の病院へ配属	看護婦不足が深刻なので自分の病院に配属
教育内容	スリ・ランカの先進的な看護学校として模範となるようなプログラムの設定	基礎教育を重視し、看護婦の養成を第一に考えたい。ポストベーシックは将来的課題

3) 所感

スリ・ランカの看護教育プロジェクトなのであって、スリ・ジャヤワルダナプラ総合病院の為だけのプロジェクトでないということは強調されるべきであろう。

また、プロジェクト開始に当っては他の看護学校との格差是正という意味から機材供与のプログラムがあるのであれば、同等の機材は他の看護学校にも等しく供与されるべきであり、そうすることでスリ・ランカ全体の看護施設、設備全体の底上げを図ることが出来るであろう。また、卒後の進路、卒後教育、継続教育に対する考え方についても関係機関の意見調整が必要であろう。

しかしながら、スリ・ジャヤワルダナプラ総合病院では看護婦不足により開棟出来ない病棟がある現状を踏まえ、早急にプロジェクトが開始されることが望まれる。

第3章 質問表及び回答

1. 質問表
- 1) シンガポール
- A. 政府機関用

FOLLOW-UP TEAM FOR JICA EX-PARTICIPANTS IN GROUP TRAINING COURSES IN NURSING ADMINISTRATION

QUESTIONNAIRE FOR THE RELEVANT AUTHORITIES IN SINGAPORE

Please read the following and prepare answers for the questions on a separate sheet of paper and forward your answers to JICA office. The information will be utilized to improve our training programme. Your cooperation is highly appreciated.

JICA has been conducting the following group training course in accordance with the purpose and objectives cited below.

NURSING ADMINISTRATION

Purpose: The purpose of the course is to give promising nurses an educational opportunity to become well-equipped administrators who will be able to upgrade the quality of nursing services in developing countries through the study of theory and practice on nursing administration.

Objectives: By the end of the training period, the participants are expected to be able to;

- 1) apply the principles and the techniques of administration learnt through attending lectures to their nursing administration.
- 2) develop their leadership ability to assume responsibility of administrative services either as vice-director, supervisor or head nurse.
- 3) comprehend the principles and conditions for strengthening nursing department introducing the knowledge and ideas gained through the course.
- 4) administrate respective ward and evaluate the nursing services and personnel.
- 5) realize the significance of in-service education of the staff and to be able to plan, execute and evaluate the programmes.
- 6) guide nursing personnel in realizing the extended role in connection with the community.
- 7) realize the role as nurse leaders in primary health care and to be able to apply in her practice
- 8) realize the importance of nursing research and learn the applied method.

QUESTIONS

1. Name of Organization
2. Please explain briefly duties or services of your organization
3. Organization chart
4. Do the above-mentioned aims and objectives of the course accommodate the needs in the relevant field in Singapore? Yes or No? If "No" please describe the reason(s).
5. Is it necessary to change the above-mentioned aims and objectives in order to accommodate more adequately the needs in Singapore? Yes or No? If "Yes" please describe the alternative(s) or suggestion(s).
6. How do you select your applicant for the JICA training course? Please explain in detail your procedures for application. Also give the names of organizations to which the course information booklet(General Information:GI) are distributed prior to selection.
7. Do you request ex-participants to submit a report when they return from Japan?
8. About the effectiveness of the training
 - 1) How do you evaluate the effect of the training.
 - 2) Does the participation to the training in Japan affect their promotion?
If "Yes", give some examples.
 - 3) Do you forbid ex-participants to change their services for a certain period after returning?
9. What type of role do you expect to the ex-participants?
10. What are the major technical difficulties in the field of nursing in your country,if any?
11. As to the training in Japan,what area do you put the highest priority in the field of nursing?
12. Considering training courses held in a foreign country other than Japan, do you have any suggestions or comments for our training course ?
13. If you have any requests, comments whatsoever concerning the training course,please write.

Thank you very much for your cooperation.

B. 研修員所属先病院用

FOLLOW-UP TEAM FOR JICA EX-PARTICIPANTS
IN GROUP TRAINING COURSES IN
NURSING ADMINISTRATION

QUESTIONNAIRE FOR THE RELEVANT HOSPITALS IN SINGAPORE

Please read the following and prepare answers for the questions on a separate sheet of paper and forward your answers to JICA office. The information will be utilized to improve our training programme. Your cooperation is highly appreciated.

JICA has been conducting the following group training course in accordance with the purpose and objectives cited below.

NURSING ADMINISTRATION

Purpose: The purpose of the course is to give promising nurses an educational opportunity to become well-equipped administrators who will be able to upgrade the quality of nursing services in developing countries through the study of theory and practice on nursing administration.

Objectives: By the end of the training period, the participants are expected to be able to;

- 1) apply the principles and the techniques of administration learnt through attending lectures to their nursing administration.
- 2) develop their leadership ability to assume responsibility of administrative services either as vice-director, supervisor or head nurse.
- 3) comprehend the principles and conditions for strengthening nursing department introducing the knowledge and ideas gained through the course.
- 4) administrate respective ward and evaluate the nursing services and personnel.
- 5) realize the significance of in-service education of the staff and to be able to plan, execute and evaluate the programmes.
- 6) guide nursing personnel in realizing the extended role in connection with the community.
- 7) realize the role as nurse leaders in primary health care and to be able to apply in her practice.
- 8) realize the importance of nursing research and learn the applied method.

QUESTIONS

1. Name of Organization
2. Please explain briefly duties or services of your organization
3. Organization chart
4. Statistical data on your hospital (No.of staff,beds,inpatients,outpatients,etc.)
5. Do the above-mentioned aims and objectives of the course accommodate the needs in the relevant field in Singapore? Yes or No? If "No" please describe the reason(s).
6. Is it necessary to change the above-mentioned aims and objectives in order to accommodate more adequately the needs in Singapore? Yes or No? If "Yes" please describe the alternative(s) or suggestion(s).
7. As to a report by ex-participants
 - 1) Did you provide an opportunity to ex-participants to present a result of the training in Japan in order to impart knowledge that they had obtained.
 - 2) Do you request ex-participants to submit a report when they return from Japan? If "Yes", please describe how to utilize it
8. About the evaluation to ex-participants
 - 1) Had their knowledge and/or technique improved?
 - 2) Were there any changes of their professional consciousness and attitude?
 - 3) How about their leadership?
 - 4) How about their promotion?
 - 5) Could your hospital make use of what they had experienced or obtained from the course programme in their duties?
 Yes / No
If "Yes", please explain what and how
If "No", Please explain the obstacle in their effort.
9. What are the major technical difficulties in your hospital,if any?
10. As to the training in Japan,what area do you put the highest priority in the field of nursing?
11. Considering training courses held in a foreign country other than Japan, do you have any suggestion or comments for our training course?
12. If you have any requests,comments,whatsoever concerning the training course,please write.

Thank you very much for your cooperation.

- 2) スリ・ランカ
A. 政府機関用

FOLLOW-UP TEAM FOR JICA EX-PARTICIPANTS
IN GROUP TRAINING COURSES IN
SPECIALIZED NURSING
AND
NURSING ADMINISTRATION

QUESTIONNAIRE FOR THE RELEVANT AUTHORITIES IN SRI LANKA

Please read the following and prepare answers for the questions on a separate sheet of paper and forward your answers to JICA office. The information will be utilized to improve our training programme. Your cooperation is highly appreciated.

JICA has been conducting the following two group training courses in accordance with the purpose and objectives cited below.

(1) SPECIALIZED NURSING

Purpose: The purpose of this training course is to enhance the participants' competency on selected fields through lectures and practice so as to contribute to improving nursing services and its standard of respective countries.

Objectives: Through the training programme the participants are expected to be able to;

- 1) comprehend and state the causes, symptoms, pathophysiology of diseases and its treatment and nursing care,
- 2) pursue comprehensive patient's management in skillful manner,
- 3) understand and manipulate specific medical equipment and instruments,
- 4) state the significance, process and nursing intervention of related clinical examinations,
- 5) understand psychosocial aspects of patients and their families, and
- 6) understand the expanded role of nurses in the community.

(2) NURSING ADMINISTRATION

Purpose: The purpose of the course is to give promising nurses an educational opportunity to become well-equipped administrators who will be able to upgrade the quality of nursing services in developing countries through the study of theory and practice on nursing administration.

Objectives: By the end of the training period, the participants are expected to be able to;

- 1) apply the principles and the techniques of administration learnt through attending lectures to their nursing administration.
- 2) develop their leadership ability to assume responsibility of administrative services either as vice-director, supervisor or head nurse.

- 3) comprehend the principles and conditions for strengthening nursing department introducing the knowledge and ideas gained through the course.
- 4) administrate respective ward and evaluate the nursing services and personnel.
- 5) realize the significance of in-service education of the staff and to be able to plan, execute and evaluate the programmes.
- 6) guide nursing personnel in realizing the extended role in connection with the community.
- 7) realize the role as nurse leaders in primary health care and to be able to apply in her practice
- 8) realize the importance of nursing research and learn the applied method.

QUESTIONS

1. Name of Organization
2. Please explain briefly duties or services of your organization
3. Organization chart
4. Do the above-mentioned aims and objectives of the two courses accommodate the needs in the relevant field in Sri Lanka? Yes or No? If "No" please describe the reason(s).
5. Is it necessary to change the above-mentioned aims and objectives in order to accommodate more adequately the needs in Singapore? Yes or No? If "Yes" please describe the alternative(s) or suggestion(s).
6. How do you select your applicant for the JICA training course? Please explain in detail your procedures for application. Also give the names of organizations to which the course information booklet(General Information:GI) are distributed prior to selection.
7. Do you request ex-participants to submit a report when they return from Japan?
8. About the effectiveness of the training
 - 1) How do you evaluate the effect of the training.
 - 2) Does the participation to the training in Japan affect their promotion?
If "Yes", give some examples.
 - 3) Do you forbid ex-participants to change their services for a certain period after returning?
9. What type of role do you expect to the ex-participants?
10. What are the major technical difficulties in the field of nursing in your country?
11. What kind of technical cooperation from Japan do you put the highest priority in order to alleviate those difficulties? Check which you consider necessary.

<input type="checkbox"/> Training in Japan	<input type="checkbox"/> Dispatch of Experts
<input type="checkbox"/> Supply of equipment	<input type="checkbox"/> Other suggestions

 What kind? Why?
12. As to the training in Japan, what area do you put the highest priority in the field of nursing?
13. Considering training courses held in a foreign country other than Japan, do you have any suggestions or comments for our training courses ?
14. If you have any requests, comments whatsoever concerning the relevant training course, please write.

Thank you very much for your cooperation.

B. 研修員所属先病院用

FOLLOW-UP TEAM FOR JICA EX-PARTICIPANTS
IN GROUP TRAINING COURSES IN
SPECIALIZED NURSING
AND
NURSING ADMINISTRATION

QUESTIONNAIRE FOR THE RELEVANT HOSPITALS IN SRI LANKA

Please read the following and prepare answers for the questions on a separate sheet of paper and forward your answers to JICA office. The information will be utilized to improve our training programme. Your cooperation is highly appreciated.

JICA has been conducting the following two group training courses in accordance with the purpose and objectives cited bellow.

(1) SPECIALIZED NURSING

Purpose: The purpose of this training course is to enhance the participants' competency on selected fields through lectures and practice so as to contribute to improving nursing services and its standard of respective countries.

Objectives: Through the training programme the participants are expected to be able to;

- 1) comprehend and state the causes, symptoms, pathophysiology of diseases and its treatment and nursing care,
- 2) pursue comprehensive patient's management in skillful manner,
- 3) understand and manipulate specific medical equipment and instruments,
- 4) state the significance, process and nursing intervention of related clinical examinations,
- 5) understand psychosocial aspects of patients and their families, and
- 6) understand the expanded role of nurses in the community.

(2) NURSING ADMINISTRATION

Purpose: The purpose of the course is to give promising nurses an educational opportunity to become well-equipped administrators who will be able to upgrade the quality of nursing services in developing countries through the study of theory and practice on nursing administration.

Objectives: By the end of the training period, the participants are expected to be able to;

- 1) apply the principles and the techniques of administration learnt through attending lectures to their nursing administration.
- 2) develop their leadership ability to assume responsibility of administrative services either as vice-director, supervisor or head nurse.
- 3) comprehend the principles and conditions for strengthening nursing department introducing the knowledge and ideas gained through the course.

- 4) administrate respective ward and evaluate the nursing services and personnel.
- 5) realize the significance of in-service education of the staff and to be able to plan, execute and evaluate the programmes.
- 6) guide nursing personnel in realizing the extended role in connection with the community.
- 7) realize the role as nurse leaders in primary health care and to be able to apply in her practice
- 8) realize the importance of nursing research and learn the applied method.

QUESTIONS

1. Name of Organization
2. Please explain briefly duties or services of your organization
3. Organization chart
4. Statistical data on your hospital (No.of staff,beds,inpatients,outpatients,etc.)
5. Do the above-mentioned aims and objectives of the two courses accommodate the needs in the relevant field in Sri Lanka? Yes or No? If "No" please describe the reason(s).
6. Is it necessary to change the above-mentioned aims and objectives in order to accommodate more adequately the needs in Sri Lanka? Yes or No? If "Yes" please describe the alternative(s) or suggestion(s).
7. As to a report by ex-participants
 - 1) Did you provide an chance to ex-participants to present a result of the training in Japan in order to impart knowledge that they had obtained.
 - 2) Do you request ex-participants to submit a report when they return from Japan? If "Yes", please describe how to utilize it
8. About the evaluation to ex-participants
 - 1) Had their knowledge and/or technique improved?
 - 2) Were there any changes of their professional consciousness and attitude?
 - 3) How about their leadership?
 - 4) How about their promotion?
 - 5) Could your hospital make use of what they had experienced or obtained from the course programme in their duties?
 Yes / No
 If "Yes", please explain what and how
 If "No", Please explain the obstacle in their effort.
9. What are the major technical difficulties in your hospital?
10. What kind of technical cooperation from Japan do you put the highest priority in order to alleviate those difficulties? Check which you consider necessary.

<input type="checkbox"/> Training in Japan	<input type="checkbox"/> Dispatch of Experts
<input type="checkbox"/> Supply of equipment	<input type="checkbox"/> Other suggestions

 What kind? Why?
11. As to the training in Japan,what area do you put the highest priority in the field of nursing?
12. Considering training courses held in a foreign country other than Japan, do you have any suggestion or comments for our training courses ?
13. If you have any requests,comments,whatsoever concerning the relevant training courses,please write.

Thank you very much for your cooperation.

3) 帰国研修員用

FOLLOW-UP TEAM FOR JICA EX-PARTICIPANTS
IN GROUP TRAINING COURSES IN
SPECIALIZED NURSING
AND
NURSING ADMINISTRATION

QUESTIONNAIRE FOR JICA EX-PARTICIPANTS

You are kindly requested to complete this questionnaire and forward to JICA office. (Typewriting is requested.) Please use additional sheet of paper and attach it herewith, if necessary.

1. Your Name (Please underline your surname or family name.)

Mr./Ms. _____

2. Your Course & Year of Participation ;

() Specialized Nursing : 19____

() Nursing Administration : 19____

() Advanced Nursing Study Course for Southeast Asia Nurses : 19____

(Conducted by Japanese Ministry of Health & Welfare and INFJ)

3. Present Occupation ;

Duties _____

Division or Department _____

Name of Your Organization _____

Type of Your Organization

() Governmental

() Local Governmental/Public

() Non-Governmental

4. Your Address & Phone Number

5. Date of Birth (Month) (Date) (Year) 19____

6. Please describe your Career after training in Japan?

Service Duration	Your Duties	Organization Name
Month, Year ~ Month Year		
1)		
2)		
3)		
4)		
5)		

7. Before applying for the course, who instructed you to participate in it?

Your Supervisor

Ministerial Authority

Yourself

Others ; _____

8. Did you report the result of the training after returning?

When, Where, To whom, How ?

9. About the effectiveness of the training;

1) What effect did it bring to your service?

2) Could you manage to apply what you had experienced or obtained through the course programme to your daily activities after returning from Japan?

Yes / No

If "Yes", please explain what and how you applied.

If "No", please explain the obstacle in your effort.

10. Please give your comment about learning the Japanese language. (Necessary or not necessary, etc.)

11. Please describe what you gained from your experiences in Japan apart from your training.

12. If you have any other comment in general, please describe it below.

(Duration, Training Programme, etc.)

13. If you have any request to JICA in connection with the course, please describe it below.

Thank you very much for your cooperation.

帰国研修員名簿

2. 帰国研修員名簿
1) シンガポール

NAME	TRAINING SUBJECT	DURATION	POST	PRESENT OCCUPATION			RESIDENCE			REMARKS
				NAME OF ORGANIZATION	ADDRESS	TEL	ADDRESS	TEL		
MS. LEE HENG LIN (8000606)	NURSING ADMINISTRATION (10)	1980 6/11 - 1980 12/12	NURSING OFFICER	SINGAPORE GENERAL HOSPITAL	MINISTRY OF HEALTH CLIPPAGE ROAD SINGAPORE	3214730	APT. BLOCK 20, JOO SENG ROAD #10-130 SINGAPORE 1336	2807992		
MS. CHIN KUI JOONG (8000607)	NURSING ADMINISTRATION (10)	1980 6/11 - 1980 12/12	STAFF NURSE	MINISTRY OF HEALTH SINGAPORE GENERAL HOSPITAL	MINISTRY OF HEALTH CLIPPAGE ROAD SINGAPORE		BLOCK 411 3083L COMMONWEALTH AVENUE WEST SINGAPORE 0512			
MS. TAN PECK KHENG (8000680)	NURSING ADMINISTRATION (10)	1980 6/11 - 1980 12/12	NURSING OFFICER	ALEXANDRA HOSPITAL	MINISTRY OF HEALTH CUAPAGE ROAD SINGAPORE WARD 10 ALEXANDRA HOSPITAL, ALEXANDRA ROAD, SINGAPORE 0314	4708310	8 TOH TUCK ROAD #01-05 RAILBOW GARDEN, SINGAPORE 2159	4662954		
MS. ONG AH ENG (8200455)	(C) NURSING ADMINISTRATION (10)	1982 6/10 - 1982 12/10	STAFF NURSE	MINISTRY OF HEALTH	MINISTRY OF HEALTH CUAPAGE CENTRE CUAPAGE ROAD SINGAPORE 0922		90 JALAN CHEMPAKA KUNING SINGAPORE 1648			
MS. GAN SIEW GEK (8303718)	(C) NURSING ADMINISTRATION (10)	1984 6/7 - 1984 12/6	SENIOR NURSING OFFICER	SINGAPORE GENERAL HOSPITAL	SINGAPORE GENERAL HOSPITAL, OUTRAM ROAD SINGAPORE 0316	2223322 (ex. 4430)	27, PARRY TERRACE, SINGAPORE 1954	2858157		
MS. POH GEOK BEE (8803371)	(C) NURSING ADMINISTRATION (10)	1988 8/22 - 1989 2/18	STAFF NURSE	ALEXANDRA HOSPITAL	ACCIDENT & EMERGENCY DEPT. ALEXANDRA HOSPITAL SINGAPORE 0314	4708314	359 HOLLAND ROAD #02-03 EYIAN SINGAPORE 1027	4695604		
MS. NG PAK CHOO (9201774)	(C) NURSING ADMINISTRATION (10)	1992 8/4 - 1992 12/18	STAFF NURSE	TAN TOCK SENG HOSPITAL	TAN TOCK SENG HOSPITAL NO. 7 MANDALAY ROAD	3595716	APT. BLOCK 345 BUKIT BATOK STREET 34 #06-276 SINGAPORE 2365	5650781		

帰国研修員名簿

2) スリ・ランカ

NAME	TRAINING SUBJECT	DURATION	POST	PRESENT OCCUPATION			RESIDENCE		REMARKS
				NAME OF ORGANIZATION	ADDRESS	TEL	ADDRESS	TEL	
MS. N. S. WIDYAPATHIGE (8602951)	(C) NURSING (10)	1986 9/29 — 1987 7/28	NURSING SISTER (NURSING OFFICER GRADE 1)	GENERAL HOSPITAL, KANDY S. L.	GENERAL HOSPITAL, KANDY COLOMBO 10, SRI LANKA	(08) 35337, 38, 39, 40, 41	SRI LANKA NO. 404 GOHAGODA, KATUGA STOTA KANDY		
MS. K. KANMANIE (8704163)	(C) NURSING (10)	1987 9/28 — 1988 7/27	NURSING OFFICER	HEALTH DEPARTMENT GENERAL HOSPITAL, BATTICALOA	INTENSIVE CARE UNIT, GENERAL HOSPITAL, BATTICALOA SRI LANKA	065-2824	KALUTHAU/ALA-1 KALUWANCHIKUDY BATTICALOA SRI LANKA		
MS. BANDARAGE DONA CHANDRALATHA (8803539)	(C) NURSING (10)	1988 9/26 — 1989 7/24	SISTER TUTOR	COLOMBO SCHOOL OF NURSING	REGENT ST. COLOMBO 10	694177	NO. 9812, KESBEWA RD. BORALESSGAMUWA SRI LANKA	94 (1) 518082	
MS. C. A. JAYASINGHE (8902989)	(C) NURSING (10)	1989 9/29 — 1990 7/26	NURSING OFFICER	CORONARY CARE UNIT GENERAL HOSPITAL COLOMBO	CORONARY CARE UNIT CARDIOLOGY COLOMBO 693040	693040	NO. 22/8 OLD ROAD, NAWINNA, MAHARAGAMA, S. L.		
MS. R. D. M. SEETHA WEERATUNGA (9103541)	SPECIALIZED NURSING (10)	1991 9/24 — 1992 7/21	NURSING OFFICER	COLOMBO GENERAL HOSPITAL	SURGICAL INTENSIVE CARE UNIT, GENERAL HOSPITAL COLOMBO	01 692992 or 691111 (ex. 372)	NO. 2/172 KANDY ROAD YAKKALA SRI LANKA		
MS. MIHINDUKASOORIYA F. J. M. KURERA (9207715)	SPECIALIZED NURSING (10)	1993 3/8 — 1993 12/10	NURSING OFFICER GRADE 2A	GENERAL HOSPITAL COLOMBO HEALTH MINISTRY	MEDICAL INTENSIVE CARE UNIT, GENERAL HOSPITAL MINISTRY OF HEALTH COLOMBO 10 SRI LANKA	691111 (ex. 301), 693019	NO. 110 COLOMBO RD. 2ND KULUINE, NECOMBC		

3. 現地政府宛サマリーレポート
1) シンガポール

Singapore, January 19, 1994

Dear Sirs,

It is my great pleasure to submit the Summary Report of the Follow-Up Team for Ex-Participants of Group Training Course in Nursing Administration.

The Team, which was dispatched by the Japan International Cooperation Agency as a part of its technical follow-up program for ex-participants, and consists of three members as mentioned in the report, arrived in Singapore on 16 January 1994. Through the visit of this time, we could obtain many valuable comments and suggestions about the above-mentioned group training course from the authorities concerned and also from the ex-participants and other people around them. We are quite sure that the information we acquired should be greatly useful for the purpose of improving these courses and also the entire technical cooperation programme of JICA.

Finally I would like to express my heartiest appreciation for your warm hospitality and kind cooperation extended to us during our stay in your country.

Yours faithfully,



Yayoi Tamura
Team Leader

SUMMARY REPORT

BY

THE FOLLOW-UP TEAM FOR THE EX-PARTICIPANTS
OF THE GROUP TRAINING COURSE
IN
NURSING ADMINISTRATION

January 1994

INDEX

- I. OBJECTIVE
- II. PERIOD
- III. MEMBERS
- IV. SCHEDULE OF THE FOLLOW-UP TEAM
- V. PERSONNEL IN SINGAPORE WHOM THE TEAM MET
- VI. IMPRESSIONS OF THE TEAM

I. OBJECTIVE

It is a worldwide trend that a role of nurse has been expanding remarkably to meet the increasing health needs in the present society as well as to be the major work force for attainment of the goal, "Health for All" through primary health care.

In the medical service area, it is no doubt that the progress in medical technology and diversified health care demands require nurses to enhance their expertise in conjunction with each respective area.

In this context, the Japan International Cooperation Agency (JICA) puts strong emphasis on the field of nursing in the framework of Basic Human Needs (BHN).

In order to have a proper understanding of the situation and the actual need in the field of nursing through questionnaire, observation and meeting with ex-participants, relevant officials and other people around them, JICA dispatches a follow-up mission. And we are sure that the results of this mission will be a guideline for the future planning of this group training course.

II. PERIOD

From January 16 to January 19, 1994.

III. MEMBERS

(1) Dr. Yayoi Tamura (Team Leader)

Deputy Director

Nursing Division, Health Policy Bureau

Ministry of Health and Welfare

(2) Ms. Etsuko Toyoshima (Technical Instructor)

Head

Department of Scholarship Studies

The International Nursing Foundation of Japan

(3) Mr.Takemichi Shirai (Coordination)

Training Officer

First Training Division, Tokyo International Centre

The Japan International Cooperation Agency

IV. SCHEDULE OF THE FOLLOW-UP TEAM

Jan. 16(sun)	Arr. Singapore
17(mon)	Courtesy Call to the Embassy of Japan Courtesy Call to the Ministry of Finance Courtesy Call to the Ministry of Health Meeting with Ex-Participants at the Ministry of Health
18(tue)	Observation of School of Nursing Observation of Singapore General Hospital Observation of Tan Tock Seng Hospital
19(wed)	Report to JICA Singapore Office Dep. Singapore

V. PERSONNEL IN SINGAPORE WITH WHOM THE TEAM MET

Embassy of Japan

Mr.Nobuto Okumura Second Secretary

Ministry of Finance

Mr.Lee Kat Kan Assistant Director, Training Public Service Division

Miss Ong Poh Chin Personnel Executive, Training Public Service Division

Ministry of Health

Mrs.Tan Poh Choo, Chief Nursing Officer

Mdm.Lim Ee Lee, Director Nursing Education

School of Nursing

Miss Chia Su Lin, Higher Nursing Officer(Tutor)

Mdm.Ler Ai Choo, Nursing Officer

Singapore General Hospital

Ms.Ow Lieyen,Deputy Nurse Administrator

Ms.Lee Heng Lin,Senior Nursing Officer,Nursing

Tan Tock Seng Hospital

Ms.Kong Gek Inn,Nursing Administrator

Ms.Ng Pak Choo,Staff Nurse,Department of Rehabilitation Medicine

Alexandra Hospital

Ms.Tan Peck Kheng,Nursing Officer Orthopaedic and Surgical Department

(NOTE: [REDACTED] means Ex-participants)

VI. IMPRESSIONS OF THE TEAM

Through the hearing from the Ministry of Finance and Ministry of Health as well as nursing administrators of the institutions concerned and ex-participants, the team have the impression that Nursing Administration course has been contributing for the improvement of the nursing care in Singapore.

However the team also realizes the necessity of reviewing the curriculum and methodology taking up the recommendations from the people concerned. As far as the duration of the course, 6 months seems to be the minimum.

Through the observation of the advanced facilities and discussions with excellent personnel, we suggest that nursing development projects should be included in "Japan-Singapore Partnership Programme (JSPP)" in the near future.

Finally we would like to express our heartfelt gratitude to all the respective authorities concerned, their superiors and our dear ex-participants for their kind cooperation, assistance and hospitality. We could not have carried out this work in the short time given to us if it had not been for tremendous help rendered by those who are concerned.

Thank you very much.

2) スリ・ランカ

Colombo, January 25, 1994

Mr.B.H.Passaperuma
Deputy Director
Department of External Resources
Ministry of Finance


Dear Sir,

It is my great pleasure to submit the Summary Report of the Follow-Up Team for Ex-Participants of Group Training Courses in Specialized Nursing and in Nursing Administration.

The Team, which was dispatched by the Japan International Cooperation Agency as a part of its technical follow-up program for ex-participants, and consists of three members as mentioned in the report, arrived in Colombo on 19 January 1994. Through the visit of this time, we could obtain many valuable comments and suggestions about the above-mentioned group training courses from the authorities concerned and also from the ex-participants and other people around them. We are quite sure that the information we acquired should be greatly useful for the purpose of improving these courses and also the entire technical cooperation programme of JICA.

Finally I would like to express my heartiest appreciation for your warm hospitality and kind cooperation extended to us during our stay in your country.

Yours faithfully,



Yayoi Tamura
Team Leader

CC: Ministry of Health and Women's Affairs
Colombo General Hospital
Kandy General Hospital

SUMMARY REPORT

BY

THE FOLLOW-UP TEAM FOR THE EX-PARTICIPANTS
OF THE GROUP TRAINING COURSES
IN
SPECIALIZED NURSING
&
NURSING ADMINISTRATION

January 1994

INDEX

- I. OBJECTIVE
- II. PERIOD
- III. MEMBERS
- IV. SCHEDULE OF THE FOLLOW-UP TEAM
- V. PERSONNEL IN SRI LANKA WHOM THE TEAM MET
- VI. IMPRESSIONS OF THE TEAM

I. OBJECTIVE

It is a worldwide trend that a role of nurse has been expanding remarkably to meet the increasing health needs in the present society as well as to be the major work force for attainment of the goal, "Health for All" through primary health care.

In the medical service area, it is no doubt that the progress in medical technology and diversified health care demands require nurses to enhance their expertise in conjunction with each respective area.

In this context, the Japan International Cooperation Agency (JICA) puts strong emphasis on the field of nursing in the framework Basic Human Needs (BHN).

In order to have a proper understanding of the situation and the actual need in the field of nursing through questionnaire, observation and meeting with ex-participants, relevant officials and other people around them, JICA dispatches a follow-up mission. And we are sure that the results of this mission will be a guideline for the future planning of these group training courses.

II. PERIOD

From January 19 to January 26, 1994.

III. MEMBERS

(1) Dr. Yayoi Tamura (Team Leader)

Deputy Director

Nursing Division, Health Policy Bureau

Ministry of Health and Welfare

(2) Ms. Etsuko Toyoshima (Technical Instructor)

Head

Department of Scholarship Studies

The International Nursing Foundation of Japan

(3) Mr. Takemichi Shirai (Coordination)

Training Officer

First Training Division, Tokyo International Centre

Japan International Cooperation Agency

IV. SCHEDULE OF THE FOLLOW-UP TEAM

- Jan. 19 Arr. Colombo
20 Visit to JICA Sri Lanka Office
Courtesy Call to the Embassy of Japan
Courtesy Call to the Ministry of Finance
Courtesy Call to the Ministry of Health & Women's Affairs
21 Visit to Colombo General Hospital
Visit to Bio-Medical Engineering Services
Observation of Nurses Training School, Colombo
Meeting with JOCV Volunteer
24 Visit to Kandy General Hospital
Observation of Nurses Training School
Observation of Peradeniya General Hospital
25 Visit to Ministry of Social Services
Observation of Sri Jayawardenepura General Hospital
Report to JICA Sri Lanka Office
26 Dep. Colombo

V. PERSONNEL IN SRI LANKA WITH WHOM THE TEAM MET

Ministry of Finance

Mr. B. H. (Buddhi) Passaperuma, Deputy Director, Department of External Resources

Ministry of Health and Woman's Affairs

See attached sheet No. 1

Colombo General Hospital

Dr. Oliver Fernando, Director and other staff (See attached sheet No. 2)

Bio-Medical Engineering Services

Mrs.S.I.Jayawardene,Director

Mr.Takeshi Mtauo,JICA Expert

School of Nursing,Colombo

See attached sheet No.3-1,2

Kandy General Hospital

See attached sheet No.4

School of Nursing,Kandy

See attached sheet No.5-1,2

Peradeniya General Hospital

See attached sheet No.6

Department of Social Services

Mr.N.W.E.Wijewantha,Director

Ms.Miyuki Hosoda,JOCV Volunteer

Sri Jayawardenepura General Hospital

See attached sheet No.7

(On the attached sheets, ✕ mark means Ex-participants of
"Specialized Nursing" & "Nursing Administration")

VI. IMPRESSIONS OF THE TEAM

1. Ex-participants are fully utilizing their gained knowledge and skills in their respective area. They also are endeavoring to share those skills to their colleagues actively which the team evaluated highly.

2. The team observed that the administrators of the relevant institutions realize the effects of the courses and provide the opportunity to the ex-participants to apply their skills. We recognized the significance of continuity of those courses as there were many requests for being accepted as many participants as possible. In this regard, the team feels that the participants should be join from not only Colombo General Hospital but also other major hospitals in Sri Lanka.

3. Hospitals the team visited have its own historical, social and economical background. We felt that their role has been expanding in medical services in the community. Therefore we realized the importance of reinforcement of nursing personnels especially administrative level.

4. The situations of nursing schools seemes not quite sufficient especially facilities and equipments. We realized that there are great needs for the improvement in nursing educational environment.

5. Finally we would like to express our heartfelt gratitude to all the respective authorities concerned, their superiors and our dear ex-participants for their kind cooperation, assistance and hospitality. We could not have carried out this work in the short time given to us if it had not been for tremendous help rendered by those who are concerned.

Thank you very much.

JICA